



Jeju Youth Forum 2017

英語による交流
をしませんか

济州青少年国際フォーラム参加者を募集します

韓国济州道の友好都市である8か国の高校生と一緒に国際問題について英語で討論する济州国際フォーラムが荒川区の友好交流都市である韓国济州にて開催されます。世界各国から参加する高校生とともに英語で活動しませんか。



開催場所	韓国 济州特別自治道 研修施設
開催日程	平成29年11月2日(木)～11月6日(月) 4泊5日間
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の高校生が济州の研修所において4つのテーマのグループに分かれ、英語で討論を行います。(平成28年度は8か国23都市125人参加) ・テーマ論文(英・日)を事前に提出します。 ・伝統文化体験と世界自然遺産を探訪します。 ・帰国後に派遣報告書(日文)を作成します。
参加費用	30,000円 (予定経費【渡航費等】の約1/2相当) お支払方法は一括払いのみとなります。
対象	荒川区内在住の高校生4人(書類と面接で選考)
応募・面接	応募書類(詳細は裏面)を協会事務局に持参または郵送 平成29年7月26日(水)(必着) 面接は8月3日 午前 荒川区役所
申込み・問合せ	荒川区国際交流協会事務局 〒116-8501 荒川区役所 文化交流推進課内(区役所 3階1番窓口) 電話 3802-3798

応募条件

申し込み時から派遣時を通じて区内に在住・在学していること。
国際交流に国際交流に関心があり、派遣の目的を理解し、派遣終了後も荒川区国際交流協会のボランティア会員として事業に協力できること。
健康で、海外生活や団体行動に対応できること。
日本の生活や文化、荒川区について英語で積極的に紹介できること。
保護者の同意が得られること。
英検準2級程度以上の英会話力があること。
事前研修会にすべて参加できること（必修）

応募書類

参加申込書一式（区役所・区内図書館・区民事務所で配布）
志望動機（原稿用紙2枚、800字程度、手書き）
この青少年国際フォーラム参加を通じて学びたいこと、活かしたいことをふまえて、将来、国際交流のために自分に何ができるかを考えて書いてください。ワープロによる原稿は受け付けません。

選考日程

7月26日（水）応募書類受付締め切り

8月3日（水）午前 荒川区役所にて面接審査

派遣決定後に、健康上の理由または派遣に不適当な理由が生じた場合、派遣の資格を取り消すことがあります。派遣資格が取り消された場合、または派遣者の都合により取りやめた場合、それまでに要した経費および取消に係る経費は応募者の負担となります。

研修日程

・内定者説明会 8月中旬（荒川区役所）

説明会には保護者の方も同席してください。

・レポート提出 8月末までに各テーマによるレポート日文、英文を提出

・事前研修会 8月下旬～10月下旬 計4回予定

平日 18時30分～20時まで

（内容：参加者が提出したテーマについて、英語によるプレゼン研修、Culture Nightにおいて高校生による荒川区の紹介に関する出し物の打合せ・練習等）

・報告書作成 11月末日まで（派遣報告書を作成、提出）



参加者の声

Nさん：私の将来を見つめなおすためのきっかけを作ってくれました。これから先、大学や就職の場でもこの濟州青少年国際フォーラムで感じた一瞬一瞬の感情を忘れずに、自分の夢に向けて頑張っていこうと思います。

Yさん：今回のフォーラムに参加させて頂いて、言葉にならない程素晴らしい経験が出来ました。5日間あっという間でしたが、多くの国の高校生との交流を通じて自分の中の世界が広がりました。

Iさん：今回フォーラムに参加したことで私は Global Citizense の一員としてもっと世界に飛び立ちたい！自分が吸収したこと全てを他の人にも伝えたい！と気持ちがより一層強くなりました。将来の道を自分から切り開き、成長できるよう勉学に励みたいです。

Tさん：私は日本という小さな場所からで世界の人たちと交流をしたことでひとまわりもふたまわりも成長できたと思います。フォーラムに参加した人たちみんながとても優しくて思いやりがあって何事にも頑張っている姿に自分もそうなりたいと思いました。

Q&A

5日間の具体的なスケジュールは？

- 1 1月2日（木） 成田 濟州 受付及びオリエンテーション
歓迎夕食会
- 1 1月3日（金） 開会式（基調演説）、文化体験
- 1 1月4日（土） パネル討論、Culture Night
- 1 1月5日（日） 平和文化コース探訪、パネル発表、閉会式、送別夕食会
- 1 1月6日（月） 濟州 成田

テーマはどのようなテーマですか

参考までに昨年のテーマは、以下のとおりです。

- ・正義に反し身体的暴力の形である学校のいじめ
- ・気候変動のための取り組み
- ・生物多様性の保存
- ・文化の多様性の保護

パネル討論とは何ですか

各テーマに別れて、自分が書いた論文を英語で発表しディスカッションを行います。様々な国々の高校生と意見を交換し、最終的にはチームとして結論をまとめ、プレゼンテーションを行います。進行役として 濟州道の高校の英語教師と ALT がついて指導します。 ALT = 外国語指導助手

自信がありませんが参加しても大丈夫ですか

英語が多少できなくても、ほかの国の人とコミュニケーションをとろうとする気持ちと、異国の地で自分を試してみたいチャレンジ精神があれば大丈夫です。日本の高校生も参加していますが、日本の高校生と過ごすことよりも、自分からほかの国の高校生に積極的に話しかけていくことによって、世界が広がっていきます。

食事や宿泊先を教えてください

食事は、朝食4回、昼食3回、夕食4回が済州道より提供されます。
出発日、帰国日の昼食は自己負担になります。

済州の観光スポットに行きますか

宿泊先はまだ決まっていますが、おそらく例年と同様、民間の研修施設になります。ほかの国の高校生3～4名とともに同じ部屋で寝泊まりします。

高校生全員で済州の文化に触れる染物体験や、自然遺産である滝を見るなど、済州島内の観光名所を訪問する予定です。

(当日の天気によってルートが変更になることもあります)

済州島とは

面積 997.8 km²
人口 およそ67万人
産業 観光
国際会議
教育 英語教育都市



済州島は、世界自然遺産にも登録され、“韓国のハワイ”とも呼ばれる風光明媚な名所です。実は、済州島が国際教育都市であることはあまり知られていません。済州島が、国際教育都市を目指すことになった背景には、韓国特有の事情があります。韓国では、若者の留学に対する意欲が非常に高く、小学生から大学院生まで、欧米へ海外留学をする韓国人は年間およそ約400万人と言われています。これに対し、海外へ留学する日本人はおよそ6万人(2012年)です。日本人は、留学後日本に帰国し、成果を還元することが多いのですが、韓国人の学生は、優秀な学生ほど海外で留学し、そのまま海外へ移り住み、研究や就職することによって定住し韓国へ帰って来ません。そこで韓国政府は2010年済州島に「教育特区」を設け、欧米諸国の有名校やインターナショナル校が続々この島に招致しました。2014年、3つの私立学校が開校しました。特にイギリスから誘致した学校は、160年の歴史のある伝統校で、富裕層の子弟たちが学ぶ教育機関です。その初めての海外の分校が済州島に設置されました。アメリカの老舗名門校の誘致も進んでおり、将来の済州島は「グローバル・リーダーを育てるアジア最高の英語教育都市」を目指して国際的な注目を集める、世界有数の国際教育拠点になる可能性があります。